

2020年6月9日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経外科において、脳神経外科手術を受けられた患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経外科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

三次元コンピューターグラフィックス(3D-dimensional computer graphics: 3DCG)を用いた脳神経外科疾患の病態解明・手術成績向上のための解剖学的因子の後ろ向き研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経外科講座 准教授 西林宏起

3. 研究の目的

私たちは、3DCGを用いて脳神経外科手術が必要な脳神経外科疾患の病気の性質や、安全に手術を行うために重要な解剖学的な因子について研究します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

脳神経外科疾患の患者さんで、2014年1月1日から2020年3月31日までの期間中に、脳神経外科手術を受け、術前に磁気共鳴画像(magnetic resonance imaging: MRI)、造影 computed tomography angiography(CTA)を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、疾患名、手術転帰、MRI画像に関する情報です。

(3) 方法

術前のMRI、CTAから専用のソフトウェアを用いて、3DCG画像を構築し、それから得られる解剖学的指標と病気の特徴、手術効果との関連を研究します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

この研究は脳神経外科教室の講座研究費で行われます。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経外科講座 担当医師 西林宏起
TEL : 073-441-0609 FAX : 073-447-1771
E-mail : hirokin@wakayama-med. ac. jp